

## 第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

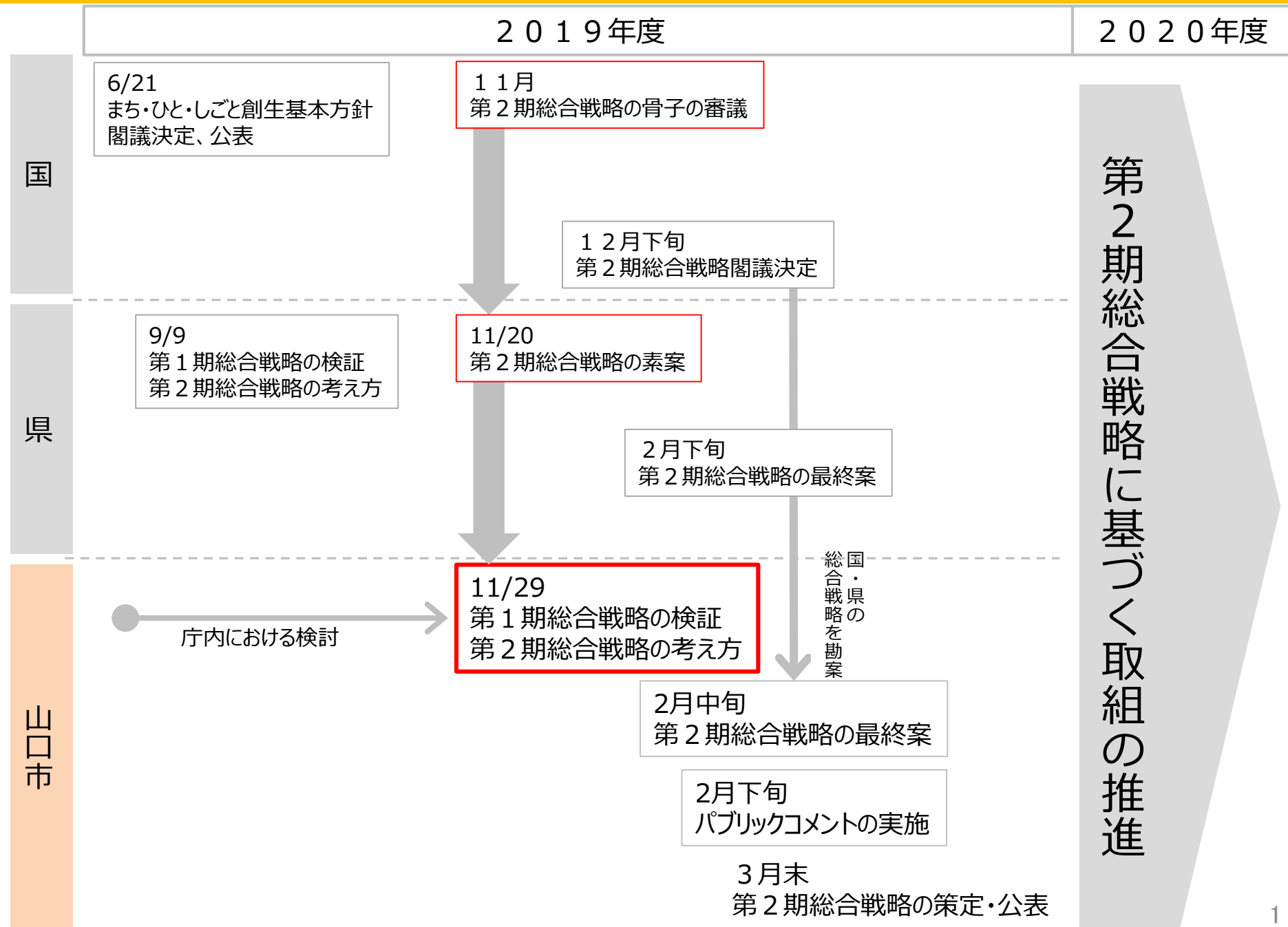
### 山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略

第1期  
(平成27年度～令和元年度)

第2期  
(令和2年度～令和6年度)

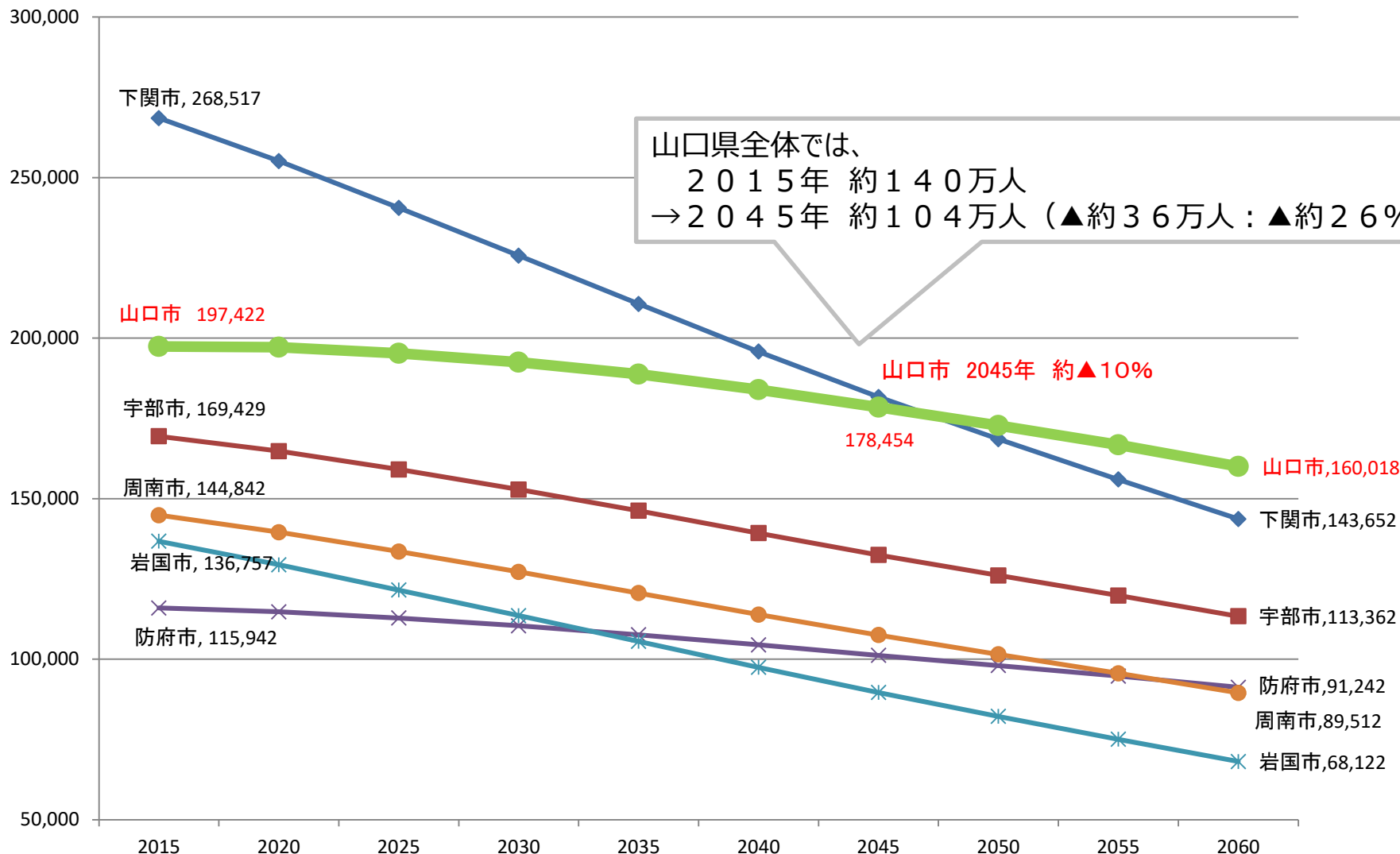


# 1 第2期総合戦略の策定スケジュール



# 2 本市に求められている役割

## ■ 県内都市(人口10万人以上)の将来推計人口



社人研推計準拠(R1.6提供データ)

# 2 本市に求められている役割

## ■ 連携中枢都市圏の取組の推進（山口県央連携都市圏域の形成 H29年3月）

### 【連携中枢都市圏とは】

人口減少・少子高齢社会においても、国全体の成長エンジンとなる都市圏を地方において形成するための制度

### 【山口県央連携都市圏域】

連携中枢都市：山口市、宇部市

連携市町：萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町

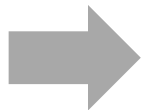


全国に63都市圏

### 【圏域における K G I 定住人口】

2010年（平成22年国勢調査）

約64.2万人



2021年（令和3年）

約60万人

### 【主な取組】

- ・山口ゆめ回廊博覧会の開催
- ・中小企業の事業承継支援
- ・移住定住の促進
- ・消防通信指令業務の共同運用の検討など



中小企業の事業承継支援では、圏域の商工会議所・商工会が連携した取組を展開



□ は、都市圏を形成している団体(32圏域)

● は、連携中枢都市の要件を満たす市(61市)※中核市に移行していない市も含む

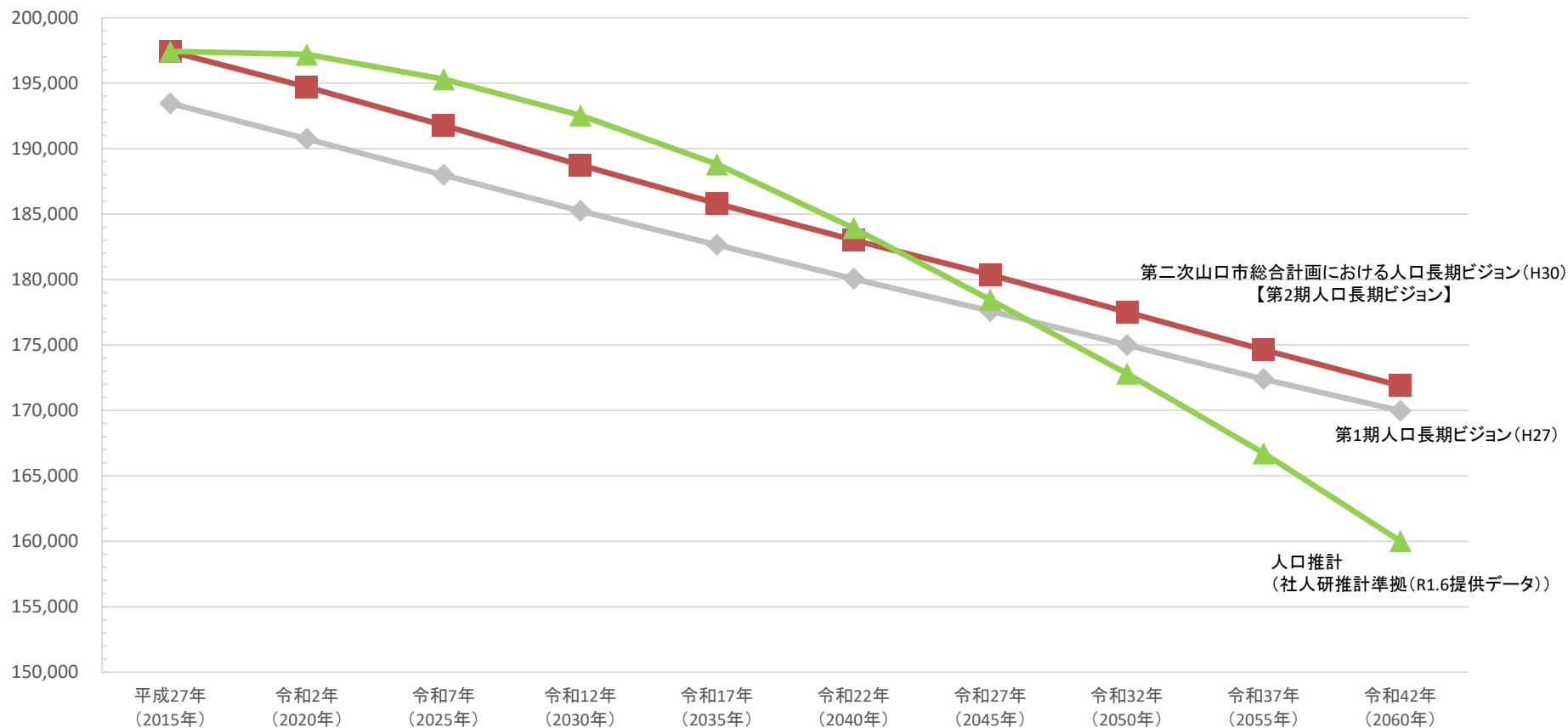
## ■ 中枢中核都市への位置づけ（H30年12月）

全国82都市

- ・ 東京圏（1都3県）以外の政令指定都市、中核市及び施行時特例市並びに県庁所在市及び連携中枢都市に該当する市として本市も位置づけをされる。
- ・ 活力ある地域社会を維持するための中心・拠点として、近隣市町村を含めた圏域全体の経済、生活を支え、圏域から東京圏への人口流出を抑止する機能を発揮することが期待されている。

# 3 人口の推計について

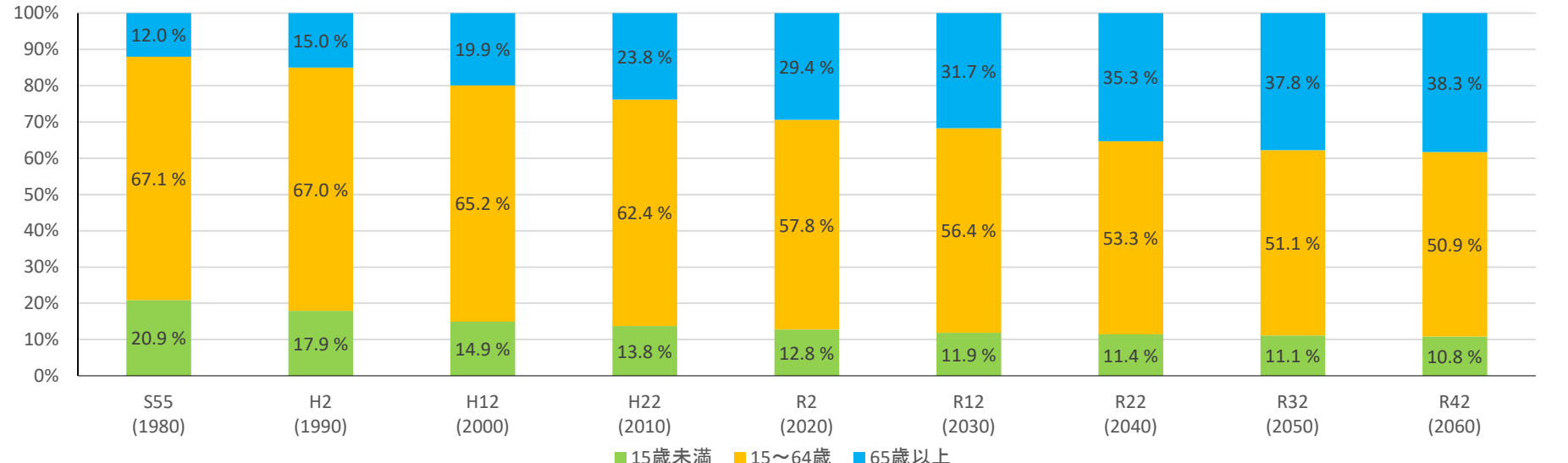
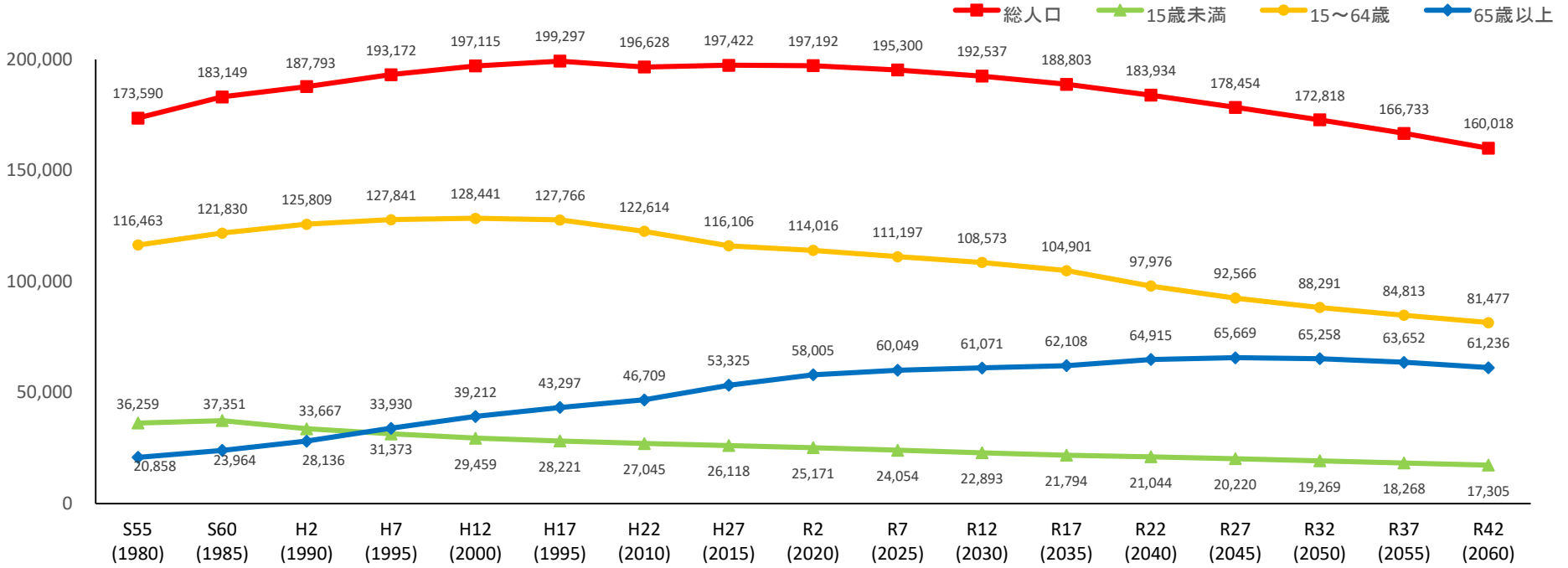
## ■ 人口推計・人口長期ビジョン



	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	令和37年 (2055年)	令和42年 (2060年)
第二次総合計画における人口長期ビジョン(H30) 【第2期人口長期ビジョン】	197,422	194,700	191,778	188,744	185,794	183,022	180,367	177,509	174,634	171,887
第1期人口長期ビジョン(H27)	193,453	190,745	187,978	185,241	182,647	180,051	177,590	174,998	172,386	169,967
人口推計 (社人研推計準拠(R1.6提供データ))	197,422	197,192	195,300	192,537	188,803	183,934	178,454	172,818	166,733	160,018

# 3 人口の推計について

## ■ 年齢3区分別人口の推移 (社人研推計準拠 (R1.6提供データ))



# 3 人口の推計について

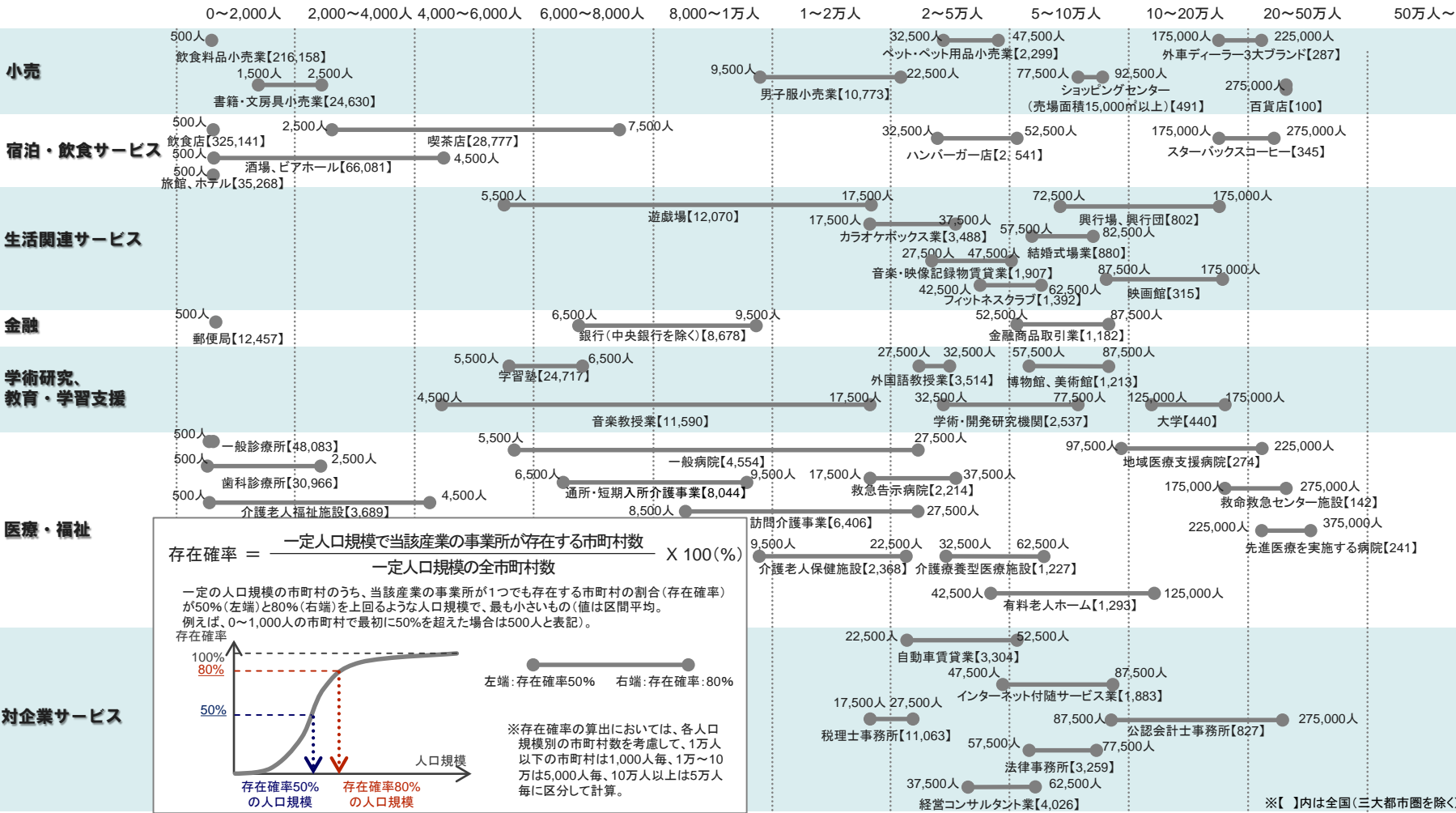
## ■ 市内21地域別の将来人口推計（社人研推計準拠（R1.6提供データ））

	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2025年 (R7)	2030年 (R12)	2035年 (R17)	2040年 (R22)	2045年 (R27)	2050年 (R32)	2055年 (R37)	2060年 (R42)
大殿	7,566	7,666	7,701	7,675	7,564	7,391	7,236	7,103	6,965	6,803
白石	10,390	10,873	11,198	11,392	11,533	11,642	11,775	11,858	11,850	11,756
湯田	12,981	13,163	13,243	13,190	13,006	12,691	12,333	11,921	11,448	10,890
仁保	3,256	2,961	2,666	2,369	2,086	1,802	1,546	1,330	1,142	964
小鯖	4,706	4,499	4,279	4,009	3,704	3,346	3,003	2,702	2,428	2,173
大内	22,878	23,356	23,567	23,561	23,331	22,831	22,211	21,477	20,583	19,573
宮野	15,136	14,441	13,700	12,859	11,916	10,863	9,756	8,701	7,677	6,661
吉敷	14,823	15,158	15,331	15,407	15,376	15,241	15,064	14,778	14,364	13,883
平川	20,402	20,619	20,470	20,754	21,158	21,552	21,432	21,269	21,047	20,674
大歳	13,481	13,990	14,444	14,797	15,014	15,120	15,155	15,107	14,984	14,781
陶	2,584	2,402	2,256	2,103	1,941	1,760	1,588	1,428	1,275	1,123
鑄銭司	3,064	2,799	2,532	2,292	2,061	1,827	1,610	1,422	1,275	1,153
名田島	1,290	1,238	1,167	1,071	963	848	744	654	575	503
秋穂二島	2,333	2,201	2,043	1,863	1,665	1,458	1,261	1,078	914	771
嘉川	6,533	6,358	6,128	5,844	5,518	5,125	4,747	4,414	4,090	3,780
佐山	2,704	2,660	2,571	2,462	2,336	2,196	2,059	1,926	1,794	1,661
小郡	25,502	26,505	27,343	27,932	28,339	28,551	28,649	28,583	28,345	27,924
秋穂	6,680	6,330	5,916	5,456	4,956	4,444	3,968	3,548	3,161	2,782
阿知須	9,426	9,576	9,660	9,705	9,758	9,813	9,911	9,963	9,958	9,883
徳地	5,915	5,267	4,625	3,997	3,402	2,837	2,330	1,908	1,561	1,275
阿東	5,772	5,130	4,460	3,800	3,177	2,597	2,075	1,647	1,297	1,004
<b>合計</b>	<b>197,422</b>	<b>197,192</b>	<b>195,300</b>	<b>192,537</b>	<b>188,803</b>	<b>183,934</b>	<b>178,454</b>	<b>172,818</b>	<b>166,733</b>	<b>160,018</b>

平成27年は国勢調査。令和2年以降は社人研推計準拠（R1.6提供データ）の全市人口に、H22とH27の9月末時点の住民基本台帳を基にした21地域ごとの移動率により算出された割合をかけて計算したもの。



# サービス施設の立地する確率が50%及び80%となる自治体の人口規模 (三大都市圏※を除く)



※三大都市圏: 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

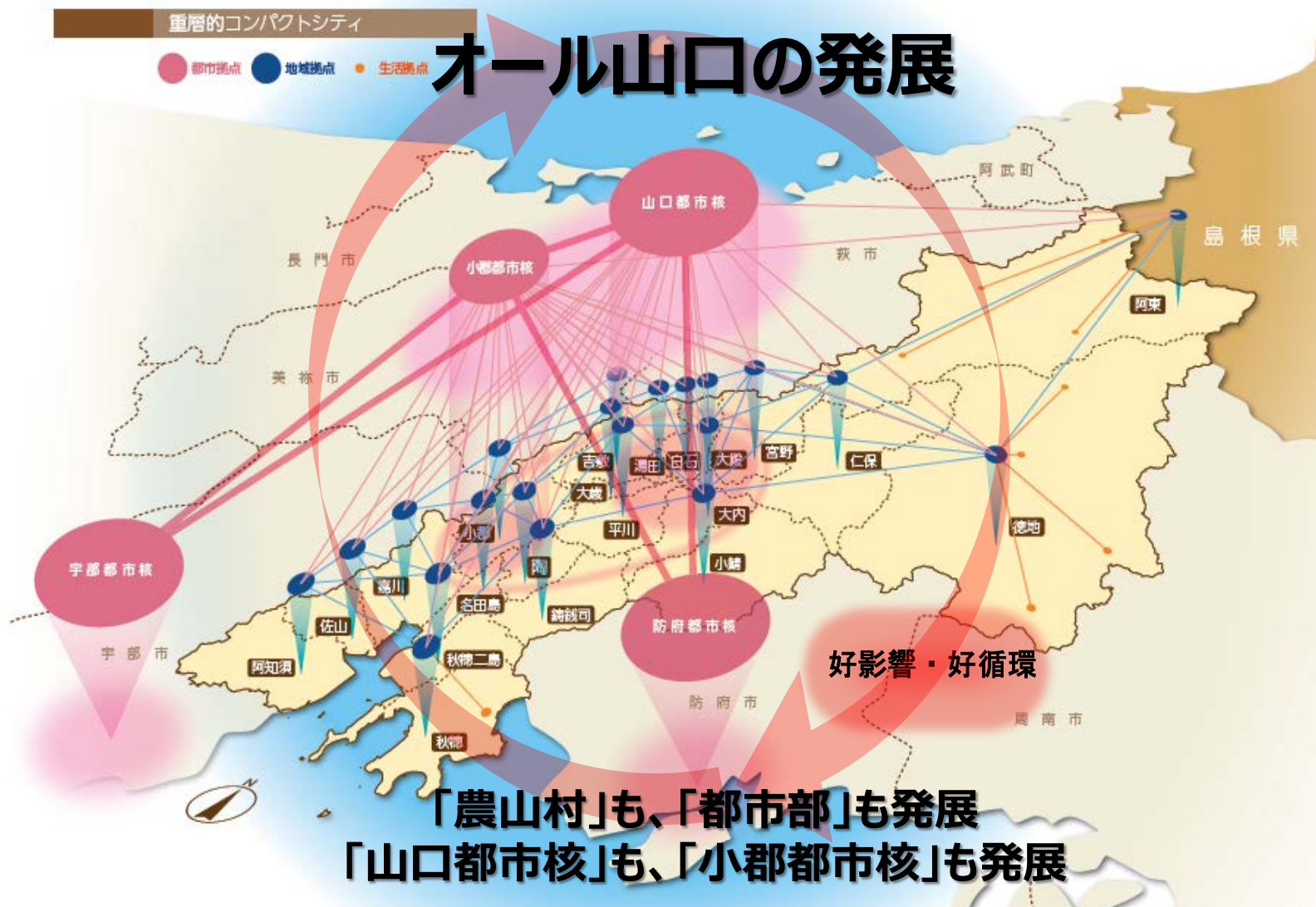
国土交通省国土政策局作成

# 4 本市が目指す都市構造等

## ■ 第二次山口市総合計画における目指すべき都市構造

### 重層的コンパクトシティ～好影響・好循環のまち～

多様な特長を有する本市の各地域が、その特長を高め合い、更なる価値創造や経済循環が生まれる「好影響・好循環」の対流型のまちづくり



# 4 本市が目指す都市構造等

## ■ 第二次山口市総合計画における都市政策の2つの柱

### 広域県央中核都市づくり

広域経済・交流圏



高次の都市機能を集積し、雇用の大半を占めるサービス業等の振興を図り、市内や山口県央連携都市圏域等に対して高次の都市機能を提供することで、あらゆる地域に安心して住み続けられるまちづくりを進め、広域的な経済活力や交流を創出する。

### 個性と安心の21地域づくり



協働によるまちづくりのもと、市内の21地域の個性と特長を際立たせると同時に、人口減少時代において、人口規模の小さな集落地域にあっても、一定の生活関連機能を維持・集積するための拠点形成とネットワーク化を進める。

# 5 国・県の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

## ■ 国の方針（まち・ひと・しごと創生基本方針2019（令和元年6月））

- ・4つの基本目標を維持しつつ、第2期における新たな視点を踏まえ、必要な見直しを行う（12月策定予定）

### 4つの基本目標

- ・地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- ・地方への新しいひとの流れをつくる
- ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

### 第2期における新たな視点

- |  |  |
|--|--|
| <p>(1) 地方へのひと・資金の流れを強化する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大</li><li>◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化</li></ul> | <p>(4) 民間と協働する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携</li></ul>   |
| <p>(2) 新しい時代の流れを力にする</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆Society5.0の実現に向けた技術の活用</li><li>◆SDGsを原動力とした地方創生</li><li>◆「地方から世界へ」</li></ul>         | <p>(5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現</li></ul>   |
| <p>(3) 人材を育て活かす</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援</li></ul>   | <p>(6) 地域経営の視点で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント<ul style="list-style-type: none"><li>・地域経済をけん引する企業の競争力強化、中小企業の生産性向上</li><li>・ストック活用、マネジメント強化 など</li></ul></li></ul> |

## ■ 県の方針（山口県活力創出推進会議（令和元年9月9日））

- ・「やまぐち維新プラン」をベースとしながら、第1期総合戦略の検証を反映するとともに、国の第2期総合戦略を勘案して策定（3月下旬に策定・公表）

# 5 国・県の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

■ Society 5.0について（内閣府資料抜粋）

## Society 5.0とは

サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、  
経済発展と社会的課題の解決を両立する、  
人間中心の**社会（Society）**

未来技術（AI・IoT・5Gなど）を活用し、多様なニーズにきめ細かく対応したモノやサービスを提供することで、経済発展と社会的課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる人間中心の社会



[内閣府作成]

# 5 国・県の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

## ■ Society5.0の実現に向けた技術の活用について

令和元年7月2日地方創生に関する都道府県・指定都市担当課長説明会資料抜粋

### 未来技術で実現する将来像・次期（2020～2024年）における技術の活用イメージの例

将来／次期	未来技術で実現する将来像										
	<p>AIを活用した生産・流通の管理、需給マッチングの自動化</p> <p>キャッシュレス社会の実現、金融ビッグデータ分析による地域振興</p> <p>ロボット・農業統合プラットフォームによる少量多品種生産の自動化</p>	<p>地方公共団体のオープンデータ化を前提としたコネクテッドな社会実現</p> <p>エネルギーのパッケージ販売・電力の個人間取引の普及</p> <p>ラストマイルの低速自動車両と公共交通機関との組合せ利用</p>	<p>人とロボット・AIが共生する生活環境の確立</p> <p>医療データのリアルタイム共有やAI等による診断サポート</p> <p>遠隔の教師と教場の教師がリアルタイムで生徒と協働する高い質の遠隔授業</p>	<p>(A)生産側～供給側のデータを集約、マッチングして少量多品種生産</p> <p>(B)生産現場における匠の技のデジタル化</p>	<p>(A)多言語翻訳やARアプリ等による観光情報の発信</p> <p>(B)モバイル決済システムの整備等によるインバウンド需要取り込み</p>	<p>(A)小型無人トラクタ・農業データ活用によるスマート農業の実現</p> <p>(B)生育情報等を活用した収穫予測・営農計画の最適化</p>	<p>(A)オープンデータを活用したアプリ作成・都市計画の可視化</p> <p>(B)テレワークによる就労機会創出・ソーシャルメディアを活用した地方行政のデジタル化</p>	<p>(A)運用のノウハウデータからAIを活用した発電の超高効率化</p> <p>(B)スマートメータの普及による高齢者の見守りや空き家の把握等</p>	<p>(A)地方公共団体が提供する地域限定の自動運転サービスの利用</p> <p>(B)離島・山間部における商品等の目視外ドローン配送</p>	<p>(A)感情を表現できるコミュニケーションロボット等の活用拡大</p> <p>(B)クラウドソーシングにより地域の女性や高齢者の就業の進展</p>	<p>(A)対面診療と適切に組み合わせたオンライン診療による安心の向上</p> <p>(B)遠隔での医療サポートやAI等の活用による医療の質の向上</p>
態様	製造	サービス	農林水産	地方公共団体	公共・インフラ	運輸	家庭・生活	医療・介護	教育		
分野	事業・ビジネス			社会基盤・空間			生活・学び				

※以上の将来像は例示に留まり、実際は、各地域の自主的・主体的な検討により決められるべきものである。

# 6 第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の考え方

## (1) 基本的な考え方

- 第1期総合戦略の4つの政策における取組について、第二次山口市総合計画前期基本計画における将来都市像の実現に向けた「8つの重点プロジェクト」と整合性を図りながら継続して進める。
- 国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略基本方針における「新たな視点」を踏まえた形での必要な見直しを行う。
- 人口長期ビジョンについては、平成30年の第二次山口市総合計画策定時において、平成27年国勢調査の確定値を用い、第1期総合戦略の人口長期ビジョンを見直しているため、第二次山口市総合計画における人口長期ビジョンを位置づける。  
【目標値：2060年における人口 約17万人】
- 計画期間については、令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）とする。

第1期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略 やまぐち地方創生100プロジェクト

4 政  
つ  
の  
策

若い人たちをターゲットに、  
山口に“しごと”をつくる

山口に新たな“ひと”の流  
れをつくる

若い世代の結婚、出産、  
子育ての希望に応える環  
境整備

都市、農山漁村が共生  
する、地域の特性に応じ  
た生活圏、都市圏の形成

新たな視点を踏まえた  
プロジェクト  
(〇〇個)

整 合

第二次山口市総合計画  
8つの重点プロジェクト

# 6 第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の考え方

## (2) 新たな視点での取組の方向性について

### ○本市を取り巻く環境

- ・人口減少時代の到来
- ・高齢化のさらなる進展と生産年齢人口の減少による人手不足
- ・東京圏や福岡、広島への転出超過
- ・本市に求められる役割（連携中枢都市圏・中枢中核都市）
- ・増大し続ける地域課題や多様な市民のニーズへの対応
- ・財源の縮小

### 第2期における新たな視点等（主なもの）

未来技術（AI・IoT・5Gなど）を活用したSociety5.0への対応

人材の掘り起こしや育成

新たな都市基盤や既存ストック（公共施設など）の有効活用

オール山口の発展

↑  
都市の生産性の向上  
↓



# 6 第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の考え方

## 未来技術（AI・IoT・5G等）を活用したSociety5.0への対応

### ○地域における未来技術（AI、IoT、5G等）の導入促進

- ・未来技術を活用した新商品や新サービスの開発
- ・農林水産業や製造業における生産性の向上
- ・観光における多言語音声翻訳などの導入による「おもてなし」の向上
- ・MaaSや自動運転車両などの次世代交通サービスの導入
- ・民間や行政における事務業務への新たなデジタル技術の活用
- ・保育業務や医療・介護現場などにおける省力化
- ・エネルギー分野における最適化
- ・教育のICT化
- ・防災、減災分野における未来技術の活用
- ・マイナンバーカード普及促進を通じた官民のコミュニティコストの低減 など

行政においてもスマート自治体への転換を推進

令和の時代にふさわしい 「小さくて大きい、新しい公共」へのトライ

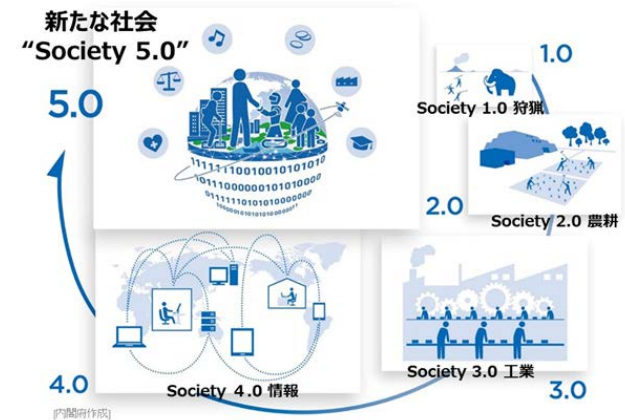
- ・電子入札システムの導入
- ・市政情報コーナーのデジタル化
- ・窓口業務のICT化 など

# 6 第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の考え方

## 人材の掘り起こしや育成

### ○ Society5.0に対応した地方創生の多様な人材の育成

- 農林水産業の新規就業者への支援
- 地域のことは地域で解決できる「小さな自治」の構築に向けた地域に関わる人材の掘り起こしと育成
- 関係人口の創出・拡大
  - ・地域おこし協力隊、地域おこし企業人の受入
  - ・ふるさと納税型クラウドファンディングの活用
- クリエイティブ人材の育成
  - ・市内情報関連企業と連携したICT人材の育成
  - ・山口情報芸術センター（YCAM）と連携したSTEAM人材の育成
- 山口市産業交流拠点施設における新たな産業人材の育成
  - ・起業・創業の支援
  - ・人と人がつながるビジネスコミュニティの創出
  - ・多様なビジネスの学びと実践が実現するセミナー、イベントの開催



山口市産業交流拠点施設

# 6 第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の考え方

## 新たな都市基盤や既存ストック（公共施設など）の有効活用

### ○公園施設において民間活力が発揮されるような機能の充実

（活用例）

- ・ユニークベニュー会場としての活用  
（大規模な会議、レセプション、イベント等の開催）
- ・アーバンスポーツ、アウトドアスポーツでの活用

【来年度における主な取組の検討状況】

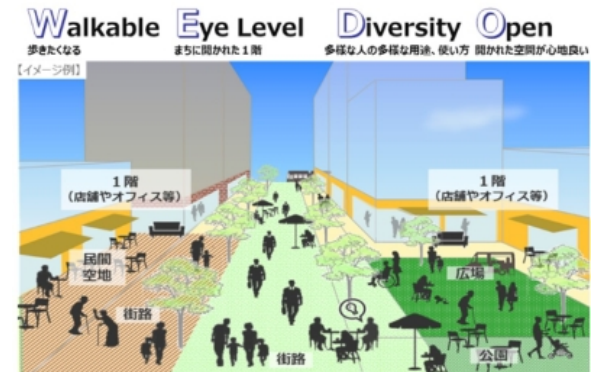
- ・中央公園におけるユニークベニュー空間づくり



中央公園をイベント等で活用

### ○「居心地が良く歩きたくなるまちなか」としての取組の推進

中心商店街ゾーンや亀山周辺、大内文化ゾーンにおいて、これまで整備を進めてきた歩くことを楽しめる都市基盤を活かし、まちなかの交流や賑わいを創出する。



国土交通省 まちなかウォーカブル推進プログラム  
（予算 概算要求 時点版）

### ○地域における公共施設などを活用した持続可能なまちづくりの推進

（検討例）

- ・多様な小さな自治の仕組みづくり

# 6 第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の考え方

## ○農業試験場跡地の利活用

### ■周辺地域における諸課題

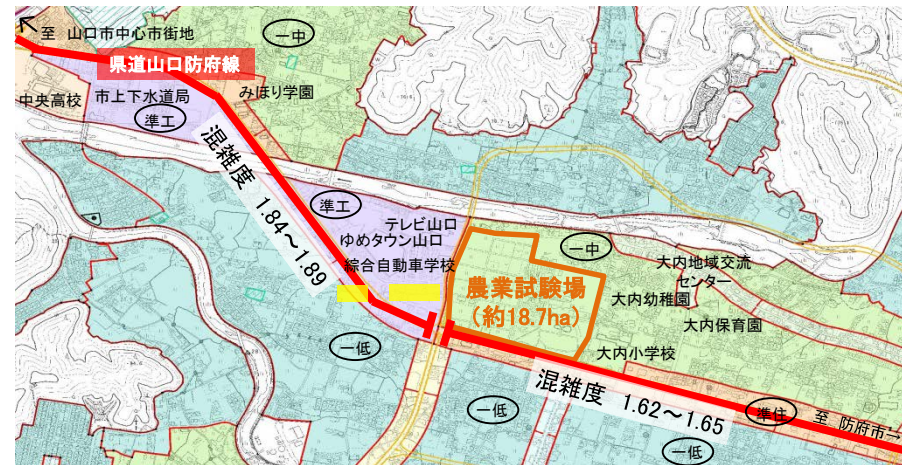
- 県道山口防府線の慢性的な交通渋滞に対する道路整備や交通安全対策などの必要性
- 農業試験場の下流域における道路冠水や家屋などの浸水被害に対する雨水排水対策の必要性

### ■地域からの要望

- 現状の保水能力を踏まえた浸水対策
- 慢性的な交通渋滞への対策
- 公園緑地機能などの憩いの場、交流拠点としての活用



大内小学校上空から



# 6 第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の考え方

## 第2期総合戦略におけるテーマ

### オール山口の発展

#### 新たな視点等の取組

未来技術（AI・IoT・5Gなど）を活用した Society5.0への対応

人材の掘り起こしや育成

新たな都市基盤や既存ストック（公共施設など）の有効活用

サービス業

農林水産業  
製造業

公共交通

子育て・教育  
医療・介護

観光

多様な人材

防災

自然・環境  
歴史・文化

広域県央中核都市づくり

個性と安心の21地域づくり

多様な  
コミュニティ

都市の生産性の向上

## 第二次山口市総合計画